

## 2. 各製品施工要領

### ◆木レンガ 100×200・100×100 ①

#### ① 下地施工

##### 内部

##### [ コンクリート下地の場合 ]

- ・セルフレベルリングを用いて水平な下地とします。

##### [ 合板下地の場合 ]

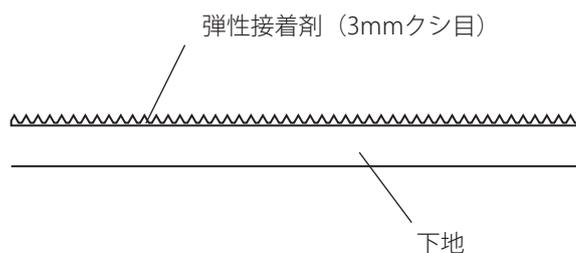
- ・根太ピッチを 303mm 以下とし、合板は 12mm を千鳥張りとしてください。

##### 外部

- ・コンクリート下地にモルタル金コテ仕上げとします。

#### ② 接着剤の塗り付け

- ・接着剤には木の収縮に耐えられるような柔軟性のある弾性接着剤をご使用ください。
- ・塗料や接着剤には、中性または弱酸性のものをご使用ください。
- ・推奨接着剤は弾性接着剤の内外装タイル用接着剤『エフレックススタイルワン（コニシ株式会社製）』です。
- ・上記以外の接着剤を使用する場合は注入した薬剤の成分が分解される可能性がありますので、アルカリ性の強い接着剤は使わないでください。
- ・施工前に下地面のチリ、ゴミ等の汚れを除いてください。
- ・あらかじめ施工図、割付図により下地寸法、仕上がり寸法等を確認のうえ、壁際等に極端に小さなサイズの切物が入らないように割付けしてください。このときの木レンガの目地幅は 3mm を推奨します。
- ・割付、墨に基づき縦横に貼りだし用の糸を張り、全体のバランスを確認してください。
- ・弾性接着剤の一回の塗り付けは 30 分以内に貼り付けが完了できる面積としてください。一度平らに塗りつけた後に 3mm のクシ目コテでしごき塗りしてください。

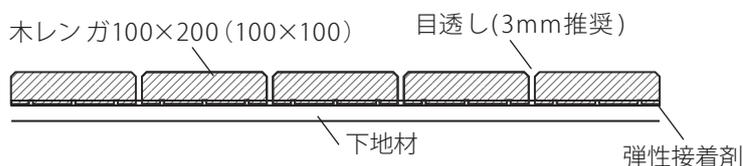


## 2. 各製品施工要領

### ◆木レンガ 100×200・100×100 ②

#### ③ 木レンガの張りつけ

- ・木レンガを張る際に左官道具と大工道具が必要となります。
- ・切削加工を行う場合は、切断面にタフの木の補修液（別売り）を塗布してください。
- ・塗りつけた弾性接着剤に木レンガをよく押し込み圧着させてください。この時押し込みが不十分だと木レンガの浮き、剥がれの原因となりますのでご注意ください。また、張りつけ後の目地修正は速やかに行ってください。
- ・目透しは 3mm を推奨します。
- ・目地は空目地とします。目地材等で目地込みをしないでください。



#### ④ 養生

- ・接着してから完全に固まるまで、上に乗ったり物を置いたりしないでください。

### ●ポイント

- ・塗装する場合は、あらかじめ木レンガに塗装し十分乾燥させてから張りつけてください。
- ・目立つ場所に切断した材料を配置しないよう割り付けると綺麗に仕上がります。
- ・2種類の木レンガを組み合わせることで様々なパターンの表現が可能となります。

<木レンガ組み合わせパターン例>

